

◆ 次の項目に該当する方はこの集団検診は受診できません。必ずご確認のうえ受診してください。

※持病のある方は、事前に主治医とご相談の上受診してください。

- ① 妊娠中または妊娠の可能性のある方（授乳中は可能です）
- ② 過去にバリウムによるアレルギーを起こしたことがある方
（じんましん、気分が悪い、顔色が青白くなる、手足が冷たくなる、喉がつまる、息苦しいなど）
- ③ 過去に食物で重篤なアレルギーを起こしたことがある方
（まれに、バリウムの添加物にアレルギーを起こす場合があります）
- ④ 腸閉塞や腸ねん転、大腸憩室炎などの既往歴がある方
（バリウムにより腸穿孔の原因になることがあります）
- ⑤ 3ヶ月以内に大腸ポリープの内視鏡治療をした方
（バリウムや下剤の刺激により、治療した箇所から出血する場合があります）
- ⑥ 1年以内に胃、大腸の手術をした方（手術した病院での検査をお勧めします）
- ⑦ 人工肛門の方（下剤服用後は便の様子が変わるため、皮膚の炎症を起こす可能性があります）
- ⑧ 腎臓病・心臓病などで水分制限を受けている方（多めの水分摂取が必要になります）
- ⑨ 常時、酸素吸入をしている方（酸素吸入器を外す必要がありますので、息がしづらくなります）
- ⑩ 4日以上排便のない方（検査後に十分にバリウムの排出ができず危険な場合があります）

◆ 問診時に必ず申し出てほしい方

- 胃の手術をしている方（撮影方法が変わることがあります）

◆ 受診前の注意 ※ 検査前の飲食や身体の状態により、検査を中断したりお断りしたりする場合もあることをあらかじめご了承ください。

- ・ 飲食 前日の午後10時以降は、飲食をしないでください。
ただし、熱中症予防のため少量の水は飲んでもかまいません。
タバコはなるべく吸わずに受診してください。（胃粘膜を刺激し撮影の妨げになります。）
- ・ 排便 便秘気味の方は、検診当日までに体調を整えてください。
- ・ 薬 血圧や心臓の薬など欠かすことができない場合は、検診時間の3時間前までに少量の水で飲んでください。（服用から3時間経てば受診できます。）
※インスリンを含む糖尿病の薬は服用しないでください。わからない時は主治医にご相談ください。
- ・ 服装 トレーナーの上下など撮影の妨げにならない服装で受診してください。
ズボンのベルト・ボタン・ファスナー・ホック等、カイロ・湿布もX線写真に写ります。
背中側も写りますので、はずしてください。

◆ 検診の結果について

検診結果はおおよそ1か月後になります。精密検査が必要となった場合には、あなたが希望した医療機関に当協会から紹介（予約）を行います。その際、あなたの検診結果と所見を合わせて送付していますので、精密検査を必ずお受けください。胃がんの精密検査は、口又は鼻から内視鏡を挿入する上部消化管内視鏡検査や、バリウムによる胃X線検査があります。